

緩和ケア普及啓発に関する活動報告書

提出日 平成 27 年 12 月 23 日

緩和ケア普及啓発活動についての報告

実施団体	
洛和会音羽病院 緩和ケア病棟	
企画名	
人の痛みを「和」らげる緩和ケア	
事前告知、募集の方法について(ポスター、チラシの配布など)	
事前告知は院内の広報誌に記載 ポスターはなし チラシは作成し当日配布	
当日の実施内容について	
日時(期間)	2015 年 10 月 25 日
実施場所	院内駐車場スペース
参加人数	イベントの参加人数は数百人 うち緩和ケアブースに立ち寄った方の人数:13 名 ・性別:男性 2 名、女性 11 名 ・属性:医療関係者 4 名(ヘルパー、コメディカル、看護学生 2 名)、 その他地域住民 9 名
<p>具体的な実施内容：</p> <p>1) 緩和ケアの正しい知識の周知</p> <p>(1) 情報提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア普及啓発事業ポスターを掲示 ・緩和ケア普及啓発事業リーフレットの陳列(希望者に配布) <p>(いずれも緩和ケア医療学会「緩和ケア net」発行)</p> <p>(2) 相談コーナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な疑問や質問のある人のために、対面で話せるブースを設置する <p>2) 緩和ケア病棟の実際</p> <p>(1) 緩和ケア病棟での生活環境紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病棟の構造、病室や共有スペースの写真を掲示 ・季節のイベント、ペットとの面会、散歩など日常の様子を写真で掲示 ・看護師が写真を示しながら説明を加える 	

(2) 緩和ケア病棟の雰囲気再現

- ・音楽療法の動画を、音声付きで流す (PC 使用)
- ・ティータイムの再現 (お茶を飲みながら話をし、資料を閲覧できるよう呈茶)

3) がん相談センターの活動紹介

- ・発行している冊子「ほっこり」の陳列 (希望者に配布)
- ・主催行事の紹介と、その際に作成した手漉き和紙等を陳列

※当日はイベント会場でスタッフ数名がチラシを配布し、緩和ケアに関する質問を交えながら緩和ケアブースに誘導し、上記の内容を提供、質問があれば返答を行った。

効果について(アンケートの結果など)

目的達成状況

1) 相談・質問する方に対して

- ・目的に沿った説明ができ、病気や場所を問わないことの理解を得られた
- ・誤解や先入観のあることに対し、具体的な説明を加えることで正しい理解につなげた
- ・興味のある内容や質問に答えることで、情報提供ができた

2) その他の方に対して

- ・チラシ配布により情報提供と、興味を持ったときの相談窓口を紹介できた
- ・興味のない方、避けたい方に対しては、アプローチすることが難しかった

課題

- ・緩和ケアブースの事前周知
- ・興味を持たない方へのアプローチ (地域への宣伝)
- ・資料の厳選 (説明に使いやすく、分かりやすい資料)
- ・連れている子供への対応 (飲み物の準備など)

その他報告

相談・質問内容

(1) 「緩和ケア」について

- ・具体的に何をするとするか
- ・実際にどのようなケアを受け、どのような生活をしているのか

(2) 時期について

- ・急性期でも該当するのか
- ・現在急性期病棟に入院している親族の症状を挙げて該当するかどうかの質問
- ・終末期のもの、最期(死に直面してから)のものではないのか

(3) 場所について

- ・急性期病棟に入院していても受けられるのか
- ・自宅でも受けられるのか

(4) その他の質問・相談内容、意見

- ・最期の時は緩和ケア病棟に入院したい、辛い症状は和らげて欲しいと思う

- ・がんと診断されたときから該当することへの驚き
- ・どこでも受けられることを初めて知った
- ・がん患者と接する上で知っておきたい(コメディカル)
- ・どのような最期であったか知りたい(在宅でがん患者と接していたヘルパー)
- ・自身がサバイバーであり配偶者が血液の癌で治療中、これからのこと、介護保険のことなどどのように考えて行くべきか知りたい

ティータイム実施状況

- ・好きな飲み物を提供し、座って話すことで、1人につき10～15分ゆつくりと話せ、「よく分かった」など、満足できるまで応じることができた
- ・飲み物の提供が、ブースに立ち寄るきっかけになる場合があった
- ・子供を連れてきている方も複数いたが、子供用の飲み物を準備していなかった

緩和ケア病棟紹介のちらし配布状況

- (1) 配布人数 74名
- (2) 配布したときの反応や印象
 - ・「怖い」「終末期」というイメージを持っている
 - ・自分には関係ないものと思いたい、避けたいと思っている人がいる
 - ・20～30歳代では興味なさそうにする方が多く、50歳代以降では興味を持つ方が多い
 - ・知人にがん患者がいるなど、身近に感じている方の興味は強い
 - ・先のことを考えるにあたり、どう過ごしたいかを聞いておくことが重要だと感じる

その他

- ・緩和ケアのブースがあることを知らない方がほとんどであった
- ・準備していた資料が多種あったが、使用したものは一部であった

※公式ホームページ（緩和ケア.net）への掲載について

（掲載してもよい ・ 掲載しないでほしい）

人の痛みを『和』らげる
緩和ケア
～お茶でも飲みながら一緒に緩和ケアについて考えてみませんか～

【洛和フェスティバル】
※相談コーナー
※緩和ケア病棟の実際
※がん相談センターの活動紹介

洛和会音羽病院 緩和ケア病棟

緩和ケアってこうだったんだ

* 緩和ケアとは何？
→がんによる『痛み』を和らげるケアです (『痛み』とは身体や心の様々なつらさ)

* 緩和ケア病棟でしか受けられない？
→どの様な場所でも受けられます (一般病棟、外来、自宅)

* どのような時期に受けるもの？
→がんと診断された時から始めます

緩和ケア病棟での生活って？

日常生活のお手伝いいたします

散歩 音楽鑑賞

ペットと面会 お酒、煙草 ティータイム

【困った時の相談窓口】
洛和会音羽病院がん相談センター
TEL 075-593-4175